



旭川市職員採用案内

2023年1月
旭川市総務部人事課

旭川市のご紹介

市長メッセージ



旭川市長
今津 寛介

この度は旭川市の職員採用に関心を持っていただきありがとうございます！
昨年市政施行 100 年を迎えた旭川市は、本年から新たな 100 年に向けての
一步を踏み出しました。先人から受け継いだ旭川市をさらに発展させていくた
めには、開拓の精神を受け継ぎ失敗を恐れずに「挑戦」する組織へと生まれ変わ
っていかなければなりません。これからのウィズコロナ・アフターコロナの時代
には前例にとらわれない新たな発想、柔軟な視点が求められており、そのために
旭川市はあなたの力を必要としています。

旭川市では人物重視での採用を実施しています。また、働き方も見直しなが
ら、その人らしく自己実現できる市役所を目指しています。旭川市職員は人の役
に立てる素晴らしい仕事です。一緒に新しい旭川を創りましょう！

まちのご案内

もっとくわしく！
旭川市の概要
市勢要覧はコチラ

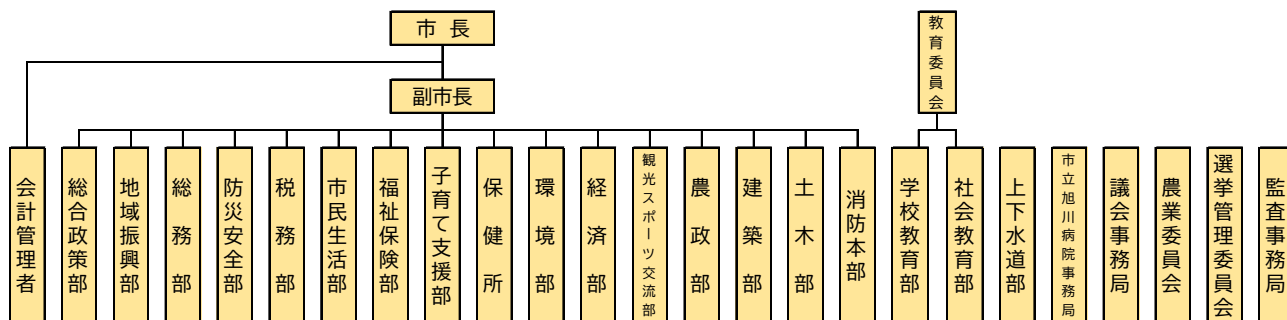


人口 32 万人の中核市である旭川市は、教育、医療、交通といった都市機能を十分に
備えながら、大雪山の恩恵である自然を満喫することもできる北北海道の拠点都市で
す。北海道のほぼ中心に位置することや地震等の災害が少ないことから、生活拠点とし
ての安定性が抜群で、人やものが集まりやすく、これらの特長をベースとした住民の
方々や職員の取り組みによって、今も発展を続けています。

行動展示で全国的に注目を集める「旭山動物園」をはじめ、「旭川家具」「ラーメン」「地
酒」といった観光資源や地場産品、「北の恵み食ベマルシェ」「冬まつり」といった季節的なイベントも多く、
一年を通して賑わいが絶えないまちです。

市役所の仕事

市民の生活を支えるため、多くの人や組織と協力して、まち全体を動かすことを仕事としています。職員
は、3～4 年周期の人事異動によって様々な業務を経験しながら、広い視野を持って、まちを維持・発展さ
せる仕事に挑戦しています。



25 の部局(令和4年4月1日現在)で構成される旭川市役所では、税、子育て、福祉、教育など、あらゆる
分野で市民の声に耳を傾け、まちの抱える課題の解決に向けた取り組みを行っています。

職員採用試験

採用試験

学歴や職務経歴などに応じて5つの試験区分があります。多様な人材を確保したいと考えているため、出身地域等にかかわらず、**人物重視**による積極的な採用を行っています。

	試験区分			試験 案内	申込 締切	1 次 試験	2 次 試験	3 次 試験	合格 発表
前期 日程	大学卒	事務	一般行政 社会福祉	3 月 初旬	4 月 上旬	5 月	6 月	7 月	8 月
		技術	土木、 建築等						
	社会人 一般	事務	一般行政						
	社会人 UIJ	事務	一般行政						
		技術	土木、 建築等						
	資格職	技術	獣医師等		5 月	7 月	8 月		
後期 日程	短大卒 高校卒	事務	一般行政	7 月 初旬	7 月 下旬	9 月	10 月		11 月
		技術	土木、 建築等						
	障害ある方	事務	一般行政			10 月	11 月		12 月

■ 大学卒の部 大学卒の 30 歳以下の方向け。1 次試験では、全員と面接を行います。

■ 社会人の部 職務経歴 5 年以上の方向け。教養試験なし。

■ 短大卒・ 短大卒の 28 歳以下、
高校卒の部 高校卒の 26 歳以下の方向け。2 次試験まで。

※ 募集職種、受験資格、試験日程等の詳細については、
必ず試験案内をご確認ください。

旭川市HP
職員採用情報は
こちら



気になるあれこれ！
職員採用Q&Aは
こちら



求める人材

旭川市役所では、職員一人一人が目指し、保ち続ける理想の姿として、次の人物像を掲げています。

- 市民目線に立った **協働志向**
- チャレンジ精神旺盛な **未来志向**
- 多様性を認め合う **チームワーク志向**

市役所の仕事は多岐にわたり、まち全体を動かそうとしたときに、自分の力だけではうまくいかない場面も多くあります。そのため、仲間はもとより市民からも理解や協力を得ることが必要不可欠であることから、相手の立場になって考え、行動できる力が重要です。

仕事紹介(事務編)

子育て支援



先輩職員の声



西田 暁子
子育て支援部
おやこ応援課

■ 妊娠・出産・子育て切れ目のない支援

旭川市の合計特殊出生率は全国値よりも低い水準にあり、核家族化が進み、女性の社会進出など近年急速に子育てする環境が変わってきています。旭川市では妊娠・出産・家庭に関する各種相談や健診、家庭訪問を行ったり、身近なところで気軽に利用できる場所として児童センターや地域子育て支援センターなどを設置し、子どもをもつ親に向けた切れ目のない支援を行っています。

■ 子どもの健やかな成長を応援

子どもの成長を地域みんなで喜び合うことのできるような温かいまちを目指し様々な取り組みを行っています。また、様々な理由で十分な食事が取れない、進学や就職を制限されるなどの困難を抱える子どもに対する支援も行っています。

■ 安心して子育てできる環境づくり

核家族化によって子育ては孤立化する傾向にあり、頼れる親族が近くにいないなど子育てに不安を抱える方がたくさんいます。安心して働きながら子育てができる環境作りのため、旭川市では次のような取り組みを進めています。

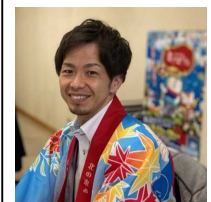
- ・保育園や放課後児童クラブの待機児童ゼロを維持
- ・子どもを安全に預けられる仕組み作り
- ・ひとり親に関する助成
- ・中学生までの医療費の助成
- ・屋内遊戯場「もりもりパーク」の設置

子どもはみんな大きな可能性を秘めており、子育て支援に関わる仕事は夢と希望があります。旭川で産んで良かった、育てて良かったと思う人を一緒に増やしましょう！！

経済・観光



先輩職員の声



船岡 拓也
経済部
経済交流課

■ まちの賑わいをつくりだす

北北海道の農畜海産物・ご当地グルメ・加工品・スイーツが旭川に集結する北北海道最大級の食の祭典「北の恵み 食べマルシェ」。世界最大級の雪像が楽しめる北海道の冬を代表するイベント「旭川冬まつり」。来場者数が延べ100万人規模を誇るイベント開催も、市役所の仕事の一つです。また、地域コミュニティの核である商店街の活性化や地元に着したまつの開催支援など、まちを元気にする地域づくりにも取り組んでいます。

■ まちの魅力を発信する

観光客が訪れ交流人口が増えることで、観光施設にとどまらず、宿泊、飲食、物産、交通などあらゆる分野に活力を与えることができます。周辺の自治体や観光関連団体と連携し、観光客誘致活動や受入体制の充実を図るとともに、北北海道最大の冬のイベントである「旭川冬まつり」の開催等を通じ、魅力ある観光地づくりを進めています。

■ 地域の“稼ぐ力”を高める

地元企業の営業力の強化のため、民間企業・行政機関・金融機関が連携し、全国の百貨店での物産展や道の駅との物産交流のほか、商談会の開催や展示会への出展支援を行い、国内外における地場産品の販路開拓や拡大に取り組み、地域の“稼ぐ力”を高めています。

民間企業と連携して国内外に旭川を売り込む一体感が味わえます。

また、100万人にも及ぶ多くの人を惹きつけるイベントをつくる充実感もあり、身近な人から反響があったときには、モチベーションが上がります！

地域振興



先輩職員の声



上田 康平
地域振興部
地域振興課

■ 中心市街地活性化の取り組み

中心市街地の維持・活性化のため、まちなかに「来る・住む・滞在時間を延ばす」のきっかけとなる魅力・コンテンツづくりを展開し、冬季には駅前広場や北彩都ガーデンなどを活かした賑わいづくりを行っています。また、賑わいを生む地域の自発的な取り組みを事業者などと協力しながら進めています。中心市街地の活性化を市民が肌で感じられるような事業を企画・実施しています。

■ 旭川駅前広場・駐車場の維持管理

旭川駅を利用する市民や観光客等のため、旭川駅北・南広場における清掃・除雪をはじめ、広場内のイベント開催、交通安全の確保などの管理業務を行っています。また、傷んだ箇所の修繕や設備の改修などを行って、旭川駅前広場の施設機能を維持しています。

■ 移住定住促進の取り組み

人口減少下において、都市部から旭川市への人の流れをつくり、関係人口の創出ひいては移住促進につなげる取組を進めています。旭川市での暮らしや関わりを求める人の「やりたいこと」を実現し、これを地域の活性化に繋げていくため、市内外の民間事業者、庁内での関係部署と連携しながら、イベントの開催、情報発信、移住相談の受付などを実施しています。

民間事業者、市民など様々な方との連携や協議、調整があって人脈が広がります。
地域の課題に直接触れることができる仕事なので、未来の“あさひかわ”づくりに意欲のある方にはぴったりの職場です。

福祉－生活保護



先輩職員の声



野田 一生
福祉保険部
保護第3課

■ 生活を保障する

「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」日本国憲法第25条にはこのように定められています。この理念に基づく生活保護法は、生活に困っている方々に最低限度の生活を保障することを目的としています。生活保護を担当するケースワーカーは、家庭訪問などを通じて、相談に応じたり、生活の維持向上を図るための助言などを行います。

■ 自立を助ける

生活保護法は、生活に困っている方々が自分の力で生活していけるよう支援することも目的としています。支援が必要な方に応じて介護サービスや障害福祉サービスの利用を支援したり、社会参加の場や就労体験の機会を提供する、自力で就労につながらない方のために仕事探しサポートするといった、さまざまな支援を行います。

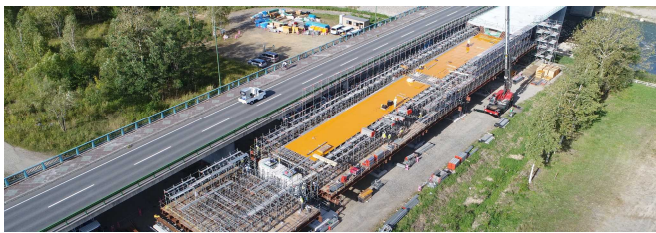
■ ケースワーカー業務のやりがいと魅力

ケースワーカーは、市民に最も近い場所で生活を支える、難しい仕事です。しかし、ご本人との間に信頼関係を築き、気持ちに寄り添って支援することで、次の一步に進むことができた時には、大きなやりがいを感じることができます。保護課には若い世代の職員も多く、新人職員を職場全体で支え育てる気風があります。生活保護に携わる職員は150人を上回っており、保護課で得た仲間とのつながりが、異動後の職場でも大きな力となっています。

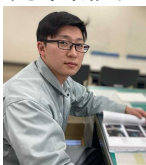
保護課は、同世代の仲間が多く、みんな同じ仕事をしているので、わからないことがあったらすぐに聞くことができ、お互いにカバーし合うことができます。仕事内容は大変ですが、その苦労だけでなく、大きな達成感も仲間と分かちあえる職場です。

仕事紹介(技術編)

まちの基盤をつくる



先輩職員の声



土村 拓未
土木部
土木建設課

■ まちのあるべき姿を「かたち」にする

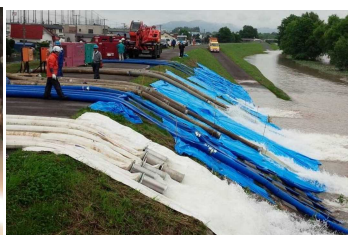
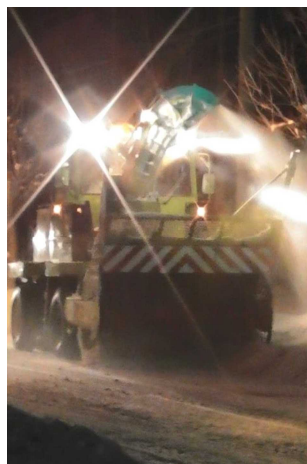
道路・橋梁・河川など公共施設の計画・設計・監督が主な仕事ですが、いつも意識するのは、事故が起きない道路や安全に渡れる橋、自然災害に強い川等を作る・守ることです。このかたちづくりをコーディネートするのが私たちの仕事、公務員だからこそ感じられる仕事の醍醐味です。

■ 身近な人たちが暮らすまちだから

このまちに暮らす人たちの生活を考え、市民とともにまちを創り上げていきます。

担当した道路を身近な人も利用していて、仕事への責任をより「リアル」に感じます。充実感もひとしおです！

市民の生活を守る



先輩職員の声



小林 寛之
土木部
土木事業所

■ まちを守る

ゲリラ豪雨に代表される急激な気候変動で、少し前までは考えられなかったような強い雨が増えました。災害を防ぐ、被災を最小限に留める、まちを守ることも私たちの役割です。

■ 冬の生活を守る

学校へ行けない、バスが来ない、救急車や消防車が通れない等、これでは安心して生活することができません。冬でもヒトやモノの流れを確保して、安全に生活できるように、除排雪や雪対策に取り組んでいます。

■ 次世代に引き継ぐために

道路や河川のメンテナンスを行い、次世代へ良好な生活環境を引き継いでいくために私たちは働いています。

市民の生活を守る強い「使命感」を感じます！チームワークでフォローし合いながら仕事を進めることができます。

安らぎあふれる空間をつくる



先輩職員の声



関 紋子
土木部
公園みどり課

■ 公園や緑地を造る

公園は、子どもたちのあそび場や地域行事の場等として、市民にとって楽しさあふれる憩いの空間ですが、みどりの持つ力でまちの空気をきれいにしたり、災害時の避難場所としても使われています。このように快適な市民生活を支える公園や緑地を造る・守ることが主な仕事です。

■ みどりの魅力を引き出す

みどりを広げる市民参加イベントを企画・開催する等、みどりのさらなる魅力を引き出す取り組みも行っています。

■ 豊かな市民生活のために

スポーツは感動や健康、交流、活力を与える場として大きな可能性を秘めています。競技場等を整備し、市民生活をより豊かなものにするのも仕事の1つです。

子どもたちの笑顔を見ると癒やされます。市民と一緒に考えてかたちにしていく仕事なので「コミュニケーション」が重要です！

まちづくりをプランニングする



先輩職員の声



江波 香織
建築部
公共建築課

■ 建物をつくる

小・中学校、市営住宅、旭山動物園の園舎といった公共建築の設計・工事監理が主な仕事です。設計は設計事務所に委託し、工事は建設会社に発注して、建物が完成するまでの流れ全体をマネジメントします。建物のリニューアルなどは、CADを使って設計することもあります。

■ まちのランドマークをつくる

小・中学校は、子どもたちの思い出となる大切な場所です。私たちは、その建設プロジェクトに強い責任感・使命感を持って取り組んでいます。また、旭山動物園が閉園の危機を乗り越え、人気スポットに生まれ変わった道のりには、ユニークな園舎の建設が必要不可欠であり、私たちの仕事が活かされています。

■ 建築確認制度

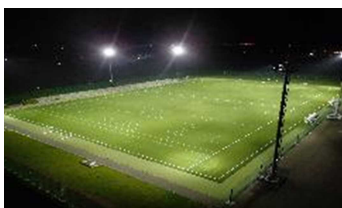
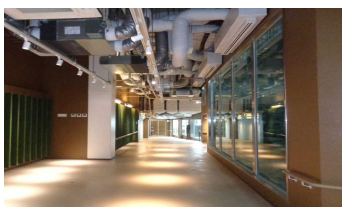
建築物は市民の生命や健康に関わる重要な財産です。建築前に建築計画が建築基準法に適合しているか審査し、建築後に計画通りに建築されているかなどを検査しています。毎年、1,000棟以上の建築の確認に関わり、安全なまちづくりに貢献しています。

■ 都市計画

まちの健全な発展と秩序ある整備を行うため、住居、商業地、工業地の適正配置など土地利用や主要な道路・公園等の整備に関する計画を立てています。市街地再開発や宅地開発、景観づくりに関する仕事も行っています。

建築物をチェックする仕事は、自分たちが市民の安心・安全の土台を作っているんだという使命感や手応えを感じられます。何気なく使っている店も家も学校も、多くの知識や技術が詰まっているものだと思えることができ、新たな視点で旭川のまちをみることができます。

くらしの環境を整備する



先輩職員の声



谷藤 文哉
建築部
設備課

■ 建物を活かす

電気、水、空気が流れることで建物がより快適に使用できます。快適に、そして安心・安全に使用するためには建築設備の充実が必要不可欠です。設備課では、建築設備の計画・設計・工事監理の仕事をしています。

■ 環境への貢献

旭川の自然を守るため、再生可能エネルギーの導入を計画し設計に反映しています。導入設備には「太陽光発電」「太陽熱給湯システム」をはじめ、地中の熱を利用した「地中熱ヒートポンプシステム」、雪の特性(雪氷熱)を活かした「雪冷房システム」などがあります。

■ 魅せるをつくる

東光スポーツ公園のナイター施設や旭川駅前の噴水など施設の魅力を更に高める設備があります。よりよい「魅せる」を目指し、メーカーや関連部署と連携しながら作り上げていきます。

■ 完成に向けて

施工計画や施工図のチェック、作業工程などの監理を行い、工事完了後、適正に工事が行われているか検査を行います。設備工事は建築工事の終盤にかけて盛んになります。工期を厳守するため事前準備が大切です。

自分で設計した内容がそのまま工事に反映されるため、責任は重いですが、その分やりがいを感じることができる職場です。工事関係者や施設管理者とのコミュニケーションをとり、より良い施設、設備にできるよう心掛けています。

先輩職員の紹介

大学卒の部－事務(一般行政)

近江 萌友

令和2年度採用

市民生活部市民活動課



■ 公務員を目指したきっかけは？

大学在学中に旭川市の「子ども農業体験塾」という事業に関わる機会がありました。そこには、農業に興味のある子どもたちが参加し、楽しそうに活動をしていました。その様子を見て、子どもたちの将来の夢をこんなふうに応援できる仕事がしたいと思いました。学校とは別の角度から自分の興味のあることを知る機会や体験する機会を提供することができて、その分野も多岐にわたる市役所を目指すことにしました。

■ 今の仕事のやりがいは？

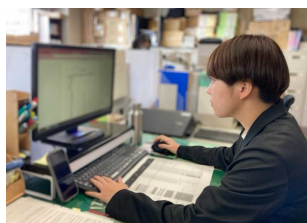
自分にとって初めての業務を無事にやり終えたときにやりがいを感じます。業務を進めていく際には、今まで経験のない事務作業をすることもあります。先輩方に聞いたり、自分で調べたりしながら進めていくことになり大変ですが、仕事を終えたときには出来ることや知っていることが倍以上に増えているのでやりがいとなっています。

■ 採用時と比べて成長したと思う部分は？

採用時に平和関連の事業の担当となり、周知のためのチラシを作成する機会がありました。はじめの頃は見よう見まねで作成していたのですが、応募者数や参加者数を増やすためには、広報物が市民の目にとまらないと始まらないと感じました。それからは、どの世代の、誰に、何を一番伝えたいのか、手に取ってもらえるデザインはどんなものかを考えながら作成するようにしているので見やすさが向上したと思います。外に出かけた際にも素敵なポスターやチラシを見つけては、興味を惹かれたポイントを探し、参考にしています。

■ これからの目標は？

市役所の仕事の魅力は一つの職業に就きながら様々な知識を得られるところだと思っています。そのため、異動の際には、新しい知識をどんどん得るとともに、市民活動課で得た知識やスキルも有効活用していきたいです。旭川市がより魅力的で素敵なまちになるように、常に向上心を忘れず、頼りになる職員を目指して頑張ります。



社会人の部－事務(一般行政)

高橋 英輔

令和元年度採用

総務部情報政策課



■ 旭川市を志望した理由は？

もともとは関東に住んでいましたが、息子のアトピー性皮膚炎の治療のため、数年前から漠然と北海道へ移住したいと考えていました。実際に、季節を変えて北海道の様々な場所に足を運ぶなかで、旭川で過ごす息子の調子も良く、長期間滞在してみると大変住みよいまちだと思いました。そんなときに、旭川市役所で社会人経験者の採用を行っていることを知り、これまでの経歴を生かして貢献できる仕事だと思い、妻と相談して採用試験を受けました。おかげさまで現在では、息子の調子も良くなり、旭川の大自然の中でのびのびと育っています。

■ 旭川での生活の感想は？

近隣のスーパーで北海道産の野菜や魚介類など魅力ある食材が手に入り、何を食べても美味しく、とても満足しています。北海道第2の都市とあって住環境も整っており、日常生活特に困ることはありませんし、どうしても必要な時は通販という手段もあります。車は土地面積が広いことからあったら便利です。ただ、冬は路面が凍ることもあり運転は慎重になります。

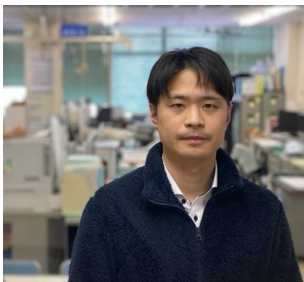
■ 民間企業と公務員の違いは感じましたか？

ビジネスライクで仕事をしてきた自分としては、やはり入庁してから民間企業との違いを感じる部分もありました。例えば、施策の影響範囲が広いことから様々な面において慎重な検討が必要ですし、複数の業務をこなさなければならないことも多々あります。ただ、今までの経験が役に立っていないかと言われると、決してそうではありません。培ってきた知識や技術があるからこそ現在の業務をこなしていると考えています。また、何より感じたのは、新たな環境でこれまで挑戦したことのない仕事に携われることが、素直に新鮮で楽しいです。

■ 今の仕事のやりがいやこれからの目標は？

前職であるシステムエンジニアの経験を生かして様々な業務改善を提案し採用されたときや、トラブル発生時などの急な依頼に対して迅速に対応し、お礼を言われたときにやりがいを感じます。また、先輩職員の方の知識と自分の経験が組み合わせられ、力を発揮できることがとても嬉しいです。今まで培ってきた情報技術をベースとして、先輩職員の方の知識との相乗効果で、より良いまちづくりとより良い行政に貢献していきたいと考えています。





■ 旭川市を志望した理由は？

大学の卒業時期が迫り、就職活動をしていた当時は生まれ育った旭川市で仕事をしたいという気持ちと道外へ出て様々な所へ行ってみたいという対極な気持ちの両方があり、最終的に新卒当時は建設関係の民間企業に入社しました。いつかは地元の旭川へ戻りたいと考えていましたが、道外各地で仕事をしていて結婚し、生まれてくる子供を自分の生まれ育った地で育てていきたいと思うようになったことが市役所職員を目指し始めた大きなきっかけとなりました。

■ 民間企業と公務員の違いは感じましたか？

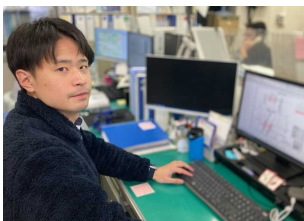
前職では公共事業などを請け負う受注者側として仕事をしてきましたが、入庁してからは立場が逆転し、発注者側として仕事をしています。立場が変わると同じ土木工事でも工事の見え方が変わり、受注者側の辛いこと、難しいことなどが発注者側からではなかなかわからなかったりすることがあります。そのため前職で自身が経験したことを活かして、時に受注者側の気持ちを汲み取りながら監督業務を行っていくように心がけています。

■ 今の仕事のやりがいは？

土木建設課の仕事は旭川市で管理している道路・河川・橋のなかで経年により損傷が大きくなってきた場所や構造的に問題がある場所を改善するために設計をして、工事が始まってからは監督業務を行っています。自分の考えを反映した現場がイメージ通りに綺麗に完成したときはやりがいを感じます。また、自分が携わった道路や橋を実際に利用した時はやりがいとともに達成感を感じます。

■ これからの目標は？

現在従事している業務を突き詰めてもっと詳しくなっていきたいと思っています。また、前職で得た知識と入庁してから培った知識を合わせて、技術士などの資格取得も目指したいと考えております。その他にプライベートなことではありますが、旭川市近郊にはたくさんのゴルフ場があるので、趣味で始めたゴルフのスコア100切りも目指していきたいです。



■ 旭川市を志望した理由は？

地元が同じ上川管内だったということもあり、幼いころからよく遊びに来ていました。当時から雄大な自然と都市機能がほどよく調和した旭川が好きで、大学卒業後は民間企業に就職しましたが、北海道に戻りたい思いが高まり、自身が学んだ専門性を生かしながら公務員の立場で旭川市の仕事をしてみたいと強く感じ、現在に至ります。

■ 民間企業と公務員の違いは感じましたか？

自分の中では、仕事に対する意識が変わったと思っています。目の前の仕事をこなしていくことに変わりはありませんが、社会のために公平性を持って取り組むことを念頭に置いた市民対応を行うよう心がけています。また、福利厚生面が安定しているため、趣味のキャンプやウィンタースポーツに充てる時間を作りやすく、立地的にも道内各地へのアクセスの利便性良いことから、ワーク・ライフ・バランスを実現しやすい環境にあると感じています。

■ 今の仕事のやりがいは？

担当業務の関係上、度々入居者の方から住環境に関する要望や問合せがあります。その内容は建築全般の内容の他、廃棄物処理、土木・緑地関係、雪など回答するために建築以外の知識も必要になるケースが多いです。入居者が抱える不安や悩みに親身になって対応し、解決の糸口を見つけたときは、とてもやりがいを感じます。市民の生活をより良いものにすることが全職員の目標と言えますが、自分の専門性を生かして現場に近いところで活躍できるのが建築職の魅力であると感じています。

■ これからの目標は？

市役所職員の技術職は設計計画、施工技術、法規、維持管理、研究など一括りにはできないほど様々な業務がありますが、私はまだ市営住宅の維持管理に係わる業務しか携わっていません。よりたくさんの現場を知り、経験を積むことで「建築」という視点から旭川市に貢献したいと考えています。





■ 公務員を目指した理由は？

保健師の資格や学校で学んだことを生かして長く働きたいと思っていたので、将来的に結婚や子育てをすることになっても仕事が続けられるよう、育休や福利厚生が充実していてプライベートな時間も確保できる公務員を目指しました。実際に、子育てを楽しんでいる日々で幸せです。

■ 現在の業務は？

保健師としての勤務年数も22年になり、現在は感染症担当として発生対応や予防のための普及啓発、相談対応等を行っています。患者や医療機関からの聞き取り調査や検体を回収して検査に回すなど、感染症の原因究明や現地調査などの拡大防止に資する業務に従事しています。

■ 旭川市職員になった感想ややりがいは？

旭川市は中核市のため、母子や成人などの市町村業務以外にも、感染症や難病、精神保健などの保健所業務を市独自に担うことになっており、幅広い分野で経験を積めることが魅力だと思います。これからの健康づくりは、様々な手法や関係機関とつながり展開していくことが求められており、そのような面からも旭川のジョブローテーションによる人材育成はとても有益で、私自身の成長にも良い影響を与えてくれています。保健所の使命である、市民の健康を守る仕事にはとてもやりがいを感じており、現在も入庁当時と変わらず、日々、学び続ける意欲を持って仕事に携わっています。

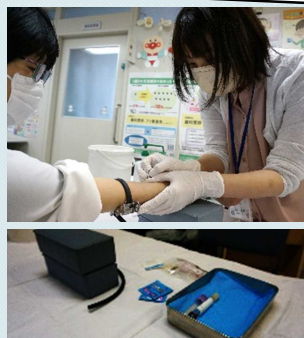


仕事風景

新型コロナウイルス感染症の疫学調査や施設での感染対策などの発生対応にあたりました。



申請受付



採血



検体検査



健康診断



■ 公務員を目指した理由は？

大学では医療や看護について学び、その中で、地域全体の健康を支え、疾病の予防に関わる保健師の仕事に魅力を感じ、保健師を目指しました。大学で自分が得たスキルをもって地元に貢献したい、また保健所を独自でもち、中核市として幅広い役割を担うまちで働きたい、という思いから旭川市を受験しました。

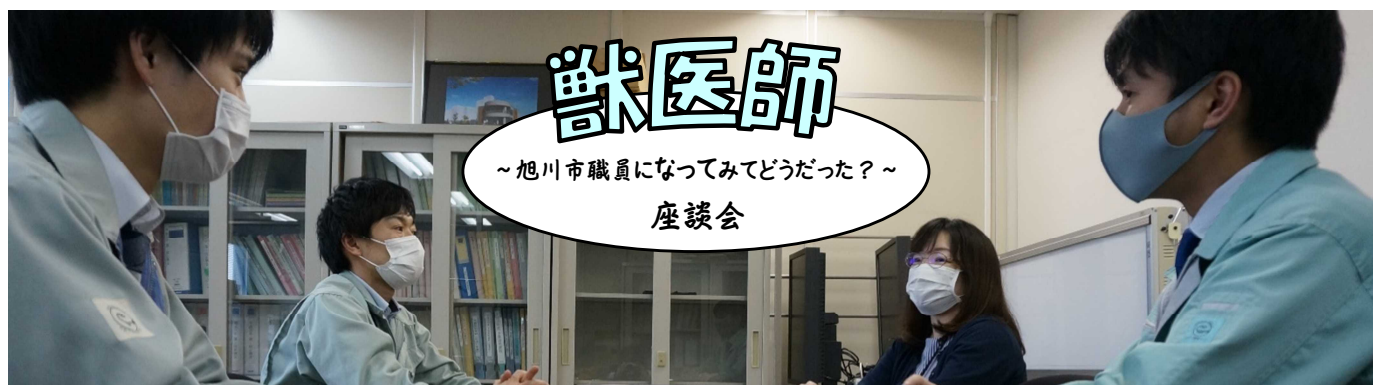
■ 現在の業務は？

国保の特定健診を受けていただいた方への保健指導では、将来的な大きな病気を予防するため、現在の身体の状態の説明や、生活で気をつけられそうな点を一緒に考えることをしています。そのほか、町内会やサークル等の団体への出前健康講座を行っています。

■ 旭川市職員になった感想ややりがいは？

多くの先輩保健師の活動を見学し、健康づくりの実際を日々学ばせていただいています。保健指導をする中で、対象者が自分の健康に興味を持ってくれた時や、健康状態が良い方向に進んだ時にやりがいを感じます。保健師の数も多く、お互いにフォローし合うことができるので、困りごとなども相談しやすい職場環境だと思います。





参加者紹介



笠井 ちあき
平成12年度採用
保健所衛生検査課

【主な仕事内容】
理・美容所、旅館・ホテル、公衆浴場、クリーニング所などの生活衛生関係店舗への営業許可・確認等



久田 学
平成24年度採用
保健所衛生検査課

【主な仕事内容】
飲食店・食品製造業への営業許可、食中毒調査、大量調理施設の監視、その他食品営業に関わる相談受付



似里 浩志
平成18年度採用
旭川市動物愛護センター

【主な仕事内容】
センターに収容された犬・猫などの健康管理・治療、ペットの正しい飼い方の普及啓発、野良猫の避妊去勢手術



板谷 巧
平成28年度採用
保健所衛生検査課

【主な仕事内容】
飲食店・食品製造業への営業許可、食中毒調査、大量調理施設の監視、その他食品営業に関わる相談受付

■皆さんが地方公務員を目指した理由を聞かせてください。

久田：僕は昔から漠然と、自分の知識や力は特定の個人にはなく、多くの方々に公平に発揮したいと考えていました。

■それで動物病院等の民間ではなく、公務員獣医師を目指したと。

久田：そうですね。どの自治体にするかは、高校生活を過ごした馴染みある旭川市で、大学で身につけた公衆衛生の知識を生かして、市民の人々を支えていければと思いこの道を選びました。

板谷：自分も久田さんに近いかもしれませんが、自身の利益よりも世のためにすることをしたいというのが信念としてありました。それを曲げずに貫くには民間企業では不可能だと考え、行政公務員を目指しました。

■同じ公務員でも獣医師の専業は北海道や他の市でもあったと思いますがなぜ旭川市を？

板谷：「住めば都」と言いますが、その都が奪われる転勤が嫌だったんですよね。転勤がない「市」の中で旭川市は何回か来たことがあり、適度な都市規模と北海道の真ん中というロケーションが気に入っていたのが決め手でした。

似里：僕は前2人ほど高尚な感じではないんですが、大学時代に獣医師の資格を生かした仕事を探している中で、食品衛生や生活衛生、動物愛護など様々な分野で広く社会に貢献できる「公衆衛生獣医師」という仕事に興味を持ちました。

■様々な仕事を経験できるのが行政の特徴の一つかと思いますがそこに魅力を感じたということですね。

似里：大体そんな感じです。あと、仕事とプライベートの両立がしやすいと考えたことも公務員を目指した理由の一つです。

笠井：私は似里さんに近いかもしれませんが、一番色々な経験ができるかもしれないと思ったことが大きかったです。学生のときの就職活動の中で、実は一番仕事内容が想像できななかったのが公務員でした。

■事務職でもよく言われるんですが、役所の仕事って色々あって中々イメージしづらいんですよね。

笠井：そうですね。でも一方で、一つの決められた仕事をずっとするのではなく、配属先が変わり、新しい仕事をするということは、視野を広げられるチャンスが他の勤務先よりあるのではと考え、最終的には公務員を目指しました。

■公務員、旭川市職員になってみてどう感じているか、お話を聞かせてください。

久田：私は自分が担当して開設したお店が徐々に市内に増えていく様子を体験でき、まさに、まちの成長を実感できることに大きなやりがいを感じます。

板谷：そうですね。まち全体から見ると小さな部分にはなりますが、自分が相談を受けた話をひとつ解決すると、まちがちょっとだけよくなったと思えますよね。

似里：日々の業務は地味な部分が多いと思いますが、まちを支える縁の下の力持的な仕事といえますね。

笠井：私は市の職員になってみて感じたことは、市民との距離が近いということです。市の保健所は市民のためにすぐ動いてくれる、という期待が寄せられていることを実感しています。

久田：確かに距離感は近いですね。

板谷：期待以外にも厳しいご意見をいただくこともあって、初めてそういった意見を頂いた時は慌てたことを覚えています。

似里：先輩が厳しい電話を受けて、相当落ち込んでいるのをみて仕事終わってから飲みに誘って慰めたこともありましたが…。その辺、職場としてフォローする体制は整っていますかね。

久田：窓口や電話で様々な方とお話する機会がありますが、上手に対応することができて、市民や事業者の方から感謝していただいた時は嬉しいです。

笠井：あと市役所は、市条例や要綱などの制度の設計作業に直接携わる機会が多いのもポイントかと思っています。

似里：市民や現場の意見を政策に反映しやすいのも、都道府県の保健所に比べて市の保健所の特徴といえるかもしれませんね。

■色々とお話を伺わせていただきました。最後に受験者に向けて一言、4人を代表して笠井さんお願いします。

笠井：旭川は住みやすくていいまちです。また旭川市保健所には27名の獣医師がいて、フォローの体制も比較的整っています。行政公務員に興味のある方、旭川市役所で私たちと一緒に働いてみませんか？ご応募お待ちしております。

耳寄り情報

勤務条件・給与

- ①勤務時間 8:45 から 17:15 まで
- ②休日 土日祝日、年末年始
- ③休暇制度 年次有給休暇 20 日、
特別休暇(夏期休暇、結婚休暇、
産前産後休暇、配偶者出産休暇、
忌引休暇等)等
- ④勤務場所 主に旭川市内
(市内各施設職場勤務の場合あり)
- ⑤給与 右表のとおり
(令和4年4月1日現在)

※ ①～②は部署により異なる場合があります。

(参考)初任給

区 分	初任給	手 当
大学卒	185,200 円	期末手当 勤勉手当
短大卒	167,100 円	通勤手当 住居手当
高校卒	154,600 円	寒冷地手当 等

※ 採用前の職歴等に応じて
加算されます。

福利厚生・各種活動

- ①都市共済 北海道都市職員共済組合による短期給付(医療保険)、長期給付(年金)、
各種助成事業(契約宿泊施設補助等)を行っています。
- ②健康管理 定期健康診断、人間ドック、婦人検診、ストレスチェック等を実施しています。
- ③福利厚生会 旭川市職員福利厚生会による慶弔関係、施設利用助成、健康増進(レクリ
エーション)助成、生活資金貸与、保険事業、各種行事等を実施しています。
- ④同好会活動 野球、ソフトテニス、バレーボール、卓球、バスケットボール、バドミントン、
ゴルフ、ボウリング、将棋等多くの同好会が活発に活動しています。

勤務状況

職員が働きやすいと思える環境を整備するため、業務の効率化や風通しの良い職場づくりに積極的に取り組んでいます。

- 超過勤務の状況 **平均13.4時間**
- 年次有給休暇の取得状況 **平均11.6日**
- 育児休業取得率 **男性39.0%、女性100.0%**

※ R3年度実績より、一人あたり・ひと月当たりの平均を算出しています。

お問い合わせ

〒070-8525 旭川市6条通9丁目46
旭川市総務部人事課 職員採用担当

TEL:0166-25-5445(直通)
mail:jinji_ikusei@city.asahikawa.lg.jp